

(お知らせ)

停止中の柏崎刈羽原子力発電所7号機における
主排気筒からの放射性物質の測定結果(7月23日分)について

平成19年7月24日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

7月16日の地震に伴い自動停止した当所7号機主排気筒からのヨウ素等の放出につきましては、放射性ヨウ素および粒子状放射性物質の測定を、7月18日より実施し公表しております。

その結果、主排気筒における7月18日分の測定では、ヨウ素131およびヨウ素133が検出されましたが、7月19日から7月23日採取分の測定では放射性物質は検出されませんでした。

なお、7号機の主排気筒からの放射性物質放出で受ける放射線量は、これまでの合計で、放射性ヨウ素が約 2×10^{-7} ミリシーベルト、粒子状放射性物質が約 7×10^{-10} ミリシーベルトとなりますが、一般公衆の線量限度1ミリシーベルトの1千万分の2であり、自然界から1年間に受ける放射線量2.4ミリシーベルトと比較しても十分低い値となっています。

7号機については、主排気筒からの放射性物質の放出の直接的要因となったタービン・蒸気排風機を7月18日に停止したことで、7月19日分以降の測定では放射性物質は検出されておられません。また、現在は原子炉が停止し安定した状態であり、放射性ヨウ素の新たな放出はないと推定されることから、通常の1週間に1回の測定に戻し、慎重な作業管理とあわせ適切に管理していくことといたします。

以上

<測定結果>

7号機主排気筒における放射性ヨウ素および粒子状放射性物質の放出状況

採取期間	放射性ヨウ素	粒子状放射性物質
7/9 ~ 7/17	約 3×10^8 ベクレル	約 2×10^6 ベクレル
7/17 ~ 7/18	約 2×10^7 ベクレル	検出されず
7/18 ~ 7/19	検出されず	検出されず
7/19 ~ 7/20	検出されず	検出されず
7/20 ~ 7/21	検出されず	検出されず
7/21 ~ 7/22	検出されず	検出されず
7/22 ~ 7/23	検出されず	検出されず
合計	約 4×10^8 ベクレル	約 2×10^6 ベクレル